

各耐熱繊維安全製品にはニューテックスの高機能耐熱繊維が使用されています  
生地厚さ・糸の太さに応じた各繊維を取り扱っています

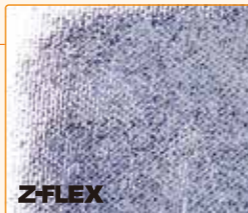
【ゼテックス繊維】

最高耐熱700℃。常用最高耐熱540℃。強度に優れた非結晶質シリカ糸を使用。燃えずに炭化する非燃焼性繊維。



【ジーフレックス繊維】

最高耐放射熱1650℃。ゼテックス繊維に高純度アルミニウム層を多層に重ねた、剥離にも強い耐放射熱用繊維。



【ゼテックスプラス繊維】

最高耐熱1095℃。常用最高耐熱815℃。ゼテックス繊維の表面にバーミキュライト加工をし耐熱性を向上させた多用途繊維。



用途例

- 熱源付近の作業員・設備保護
- 火花等からの作業員・設備保護
- 金属配管のガスケット
- パイプ断熱
- 耐熱繊維製品の材料  
(耐熱手袋・耐熱服・耐熱カーテン等)他

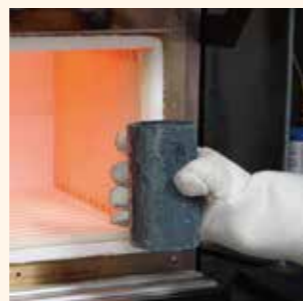
すべてノンアスベスト

「耐熱」と「断熱」の違い

- 「耐熱」: 表面の繊維がその温度まで耐えられる
- 「断熱」: 熱を通さない

ニューテックスの耐熱手袋は熱を遮断するのか

「耐熱手袋」のため、持った直後は熱を感じませんが、遅れて熱は伝わってきます。手袋表面の繊維が耐えていても熱を遮断するわけではありません。ご使用の際は耐熱手袋の中に皮手袋を着用するなどの安全対策を推奨いたします。何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

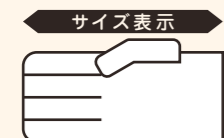


手袋とミットンの違いについて

手袋は、物を握る等の作業性に優れています。ミットンは、両手で物を挟んだり、手の上に物を乗せての運搬に最適です。(ミットンでは物を握れません)

各種手袋のサイズについて

各種手袋のサイズは指先から手を入れる部分(手首側)までの長さを表しています。



布製品のため実製品とは多少の誤差がございます。

セレクションガイド

ステップ1	手袋 ▶ 物を握る作業、片手での作業
種類を選ぶ	ミットン ▶ 簡単な運搬、追加の熱保護、耐久性、はめやすさ
ステップ2	Zetex[ゼテックス] ▶ 最高700℃までの耐熱用途
タイプを選ぶ	ZetexPlus[ゼテックスプラス] ▶ 最高1095℃までの耐熱用途
	Z-Flex[ジーフレックス] ▶ 最高1650℃までの放射熱からの保護
ステップ3	ダブルパーム ▶ 重量のある高温物の取り扱い、より高い強度・耐久性
加工を選ぶ	アラミドパーム ▶ 耐摩耗性、耐切削性、高温での柔軟性
ステップ4	28cm ▶ 手の保護
	35cm ▶ 手首までの保護
サイズを選ぶ	58cm ▶ 肘までの保護

【ゼテックス ファイヤーブランケット】

- 火元をすっぽりと覆う広い布地
- 火に強い不燃性シリカ繊維で縫製
- 付属専用ケースで壁に設置可能
- 緊急時でもブランケットを簡単に引き出せるタグ
- タグを持つことで安全に火元を覆うことが可能
- 消火器のように粉末剤や液体で汚れないため後処理が簡単
- 火災発生時の防火頭巾としても利用可能
- 英国規格:BS476 Part7に合致

ファイヤーブランケットの使用方法

2本のタグをしっかりと握り、真下に引きます。

火元を倒さないよう、布地の中央に来るように被せます。

火元から離れ、完全に消火するのを待ちます。

ガス・電気コンロが点いている場合は消します。



付属専用ケースの裏面には取り付け穴があり、壁掛け可能です。

■ 2本のタグがブランケットに縫い付けられており、女性の方でもスムーズに引き出し可能



■ ブランケットの布地は広く、余裕をもって火元を覆うことが可能

■ ブランケットは専用ケースの中に折りたたまれた状態で収納

品番	ブランケットサイズ	収納ケースサイズ	重量(ケース収納時)	価格
FB44	120cm×120cm	幅16cm×高25cm奥3.8cm	988g	¥10,400
FB46	120cm×180cm	幅16cm×高36.5cm奥3.8cm	1410g	¥12,600
FB66	180cm×180cm	幅16cm×高50.5cm奥3.8cm	2140g	¥17,500

【ご注意】ファイヤーブランケットは初期消火用です。状況によっては炎が消えた後でも再着火の危険性がございます。消火器を用意するなど、適切な追加消火に備えてください。すでに天井や壁に火が移っている場合や火のまわりが早い場合は、消防署に通報するなど適切に対応ください。天ぷら油火災の場合、布の重さで鍋を落とす可能性がございます。消火器やエアゾール式簡易消火具(NSマーク付)の使用をおすすめします。